



Hiroshima Research Center for Healthy Aging (HiHA)

主催: 広島大学健康長寿研究拠点

HIROSHIMA UNIVERSITY

「染色体の安定性を保証する染色体分離の時空間的制御特性とその分子機構の解明」

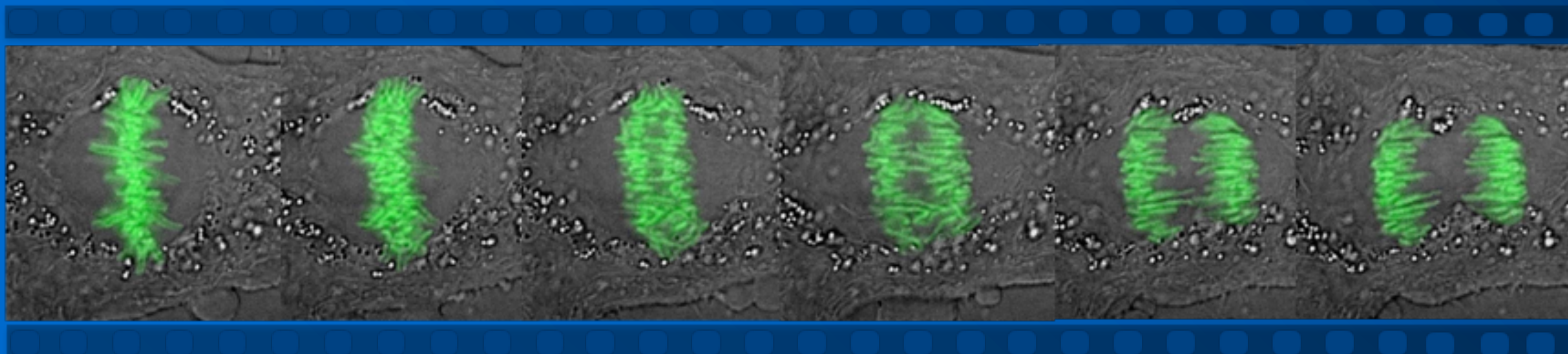
広田 亨博士
がん研究会がん研究所
実験病理部長

世話人: 登田 隆特任教授
大学院統合生命科学研究科
生物工学ユニット

《概要》

染色体不安定性は、がん組織を構成する細胞の多様性を増大させる要因であり、進展したがんに通じてみられる性質である。その主な原因は、M期(細胞分裂期)における染色体分配過程の異常と言われているが、M期制御分子の遺伝子変異は少なく、何故がん細胞は染色体分配を失敗するのか、その病理機構は未だによく分かっていない。

我々はこれまで、「中期から後期の移行」という、生化学的にも形態学的にも劇変するM期のクライマックスに焦点を絞り、染色体分離の時空間的な制御と染色体不安定性との関連を解析してきた。本発表では、M期チェックポイントの解除とそれに引き続いて起こるセパレーズの活性化に関する最新の知見を紹介し、中期後期移行期に備わった“ブレーキ”と“アクセル”がいかにロバストに制御されているのか、がん細胞ではそれらのロバストネスを喪失しているのかを議論したい。



* 本セミナーは、統合生命科学研究科セミナーとして、プログラム共同セミナーの対象です

開催日時: 令和3年 6月 9日(水) 15:00-16:00

Zoomによるwebセミナー

ミーティングID: 964 0782 1884

入室パスワード: 114753

お問い合わせ先 広島大学大学院統合生命科学研究科
HiHA事務局(healthy-aging@hiroshima-u.ac.jp)